

# 特定非営利活動法人海部南部権利擁護センター

## SDGsの取組

取組・活動内容	<p>SDGsの根本は「誰一人取り残さない」ということです。そして、そのキーワードは、多様性を認める、排除しないということです。人間社会は、互いに助け合うから持続するのであって、相互扶助だから、成り立つと考えています。</p> <p>一人も取り残さないための第1歩は、「相手に寄り添う」、そして「相手の話をしっかりと聞く」ことだと思います。しかし、実際は、誰もが忙しく、話を聞いてもらいたくても、「また今度」と言われたり、時間を区切られたりして、じっくり聞いてもらうことが難しいことが増えているようにみえます。</p> <p>海部南部権利擁護センターでは、仕事や業務などに追われて忙しくても、話を聞く側の価値観ではなく、必ず耳を傾け、その人の存在そのものを認め、おおらかに暮らせる地域づくりを目指しています。</p>		
	目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済 3	相談体制の充実	窓口相談、電話相談、巡回相談、弁護士相談の体制に加え、アウトリーチ型の訪問相談の実施 1回/月 (2025年度まで毎年)
	社会 10 11 16	①人権を尊重する社会の形成 (高齢者や障がい者の権利擁護) ②成年後見制度の推進	地域の各支援者(事業者)及び行政、専門職向けに権利擁護勉強会の実施 1回/月 (2025年度まで毎年) 虐待対応の研修会 1回/年 (2025年度まで毎年) 地域住民のための成年後見制度勉強会の実施 3回/年 (2025年度まで毎年)
環境 13	地球温暖化問題の意識	ペーパーレス化 FAXからメールへの切替 (2025年度まで20%減)	